

平成29事業年度

決算報告書

【 第 14 期 】

自：平成29年 4月 1日

至：平成30年 3月31日

国立大学法人 京都大学

平成 29 年度 決算報告書

国立大学法人 京都大学

(単位:百万円)

区 分	予 算	決 算	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	55,123	55,393	270	(注1)
施設整備費補助金	2,937	3,411	474	(注2)
補助金等収入	3,692	4,780	1,088	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	97	97	—	
自己収入	50,563	51,702	1,139	
授業料、入学料及び検定料収入	12,543	12,140	△ 403	
附属病院収入	36,023	36,499	476	
財産処分収入	305	4	△ 301	(注4)
雑収入	1,692	3,059	1,367	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	45,355	44,736	△ 619	
引当金取崩	—	209	209	(注6)
長期借入金収入	2,198	2,198	—	
前中期目標期間繰越積立金取崩	1,123	596	△ 527	(注7)
出資金	4,500	2,301	△ 2,199	(注8)
計	165,588	165,423	△ 165	
支出				
業務費	104,344	104,528	184	(注9)
教育研究経費	69,340	68,471	△ 869	
診療経費	35,004	36,057	1,053	
施設整備費	5,232	5,738	506	(注10)
補助金等	3,692	4,703	1,011	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	45,355	39,642	△ 5,713	(注12)
長期借入金償還金	2,465	2,419	△ 46	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	2	2	(注13)
出資金	4,500	2,301	△ 2,199	(注14)
計	165,588	159,333	△ 6,255	
収入-支出	—	6,090	6,090	

○予算と決算の差異について

- (注1) 当初予算段階では予定していなかった特殊要因経費が交付されたこと等により、予算額に比して決算額が270百万円多額となっております。
- (注2) 当初予算段階では予定していなかった施設整備費補助金が交付されたこと等により、予算額に比して決算額が474百万円多額となっております。
- (注3) 当初予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得等により、予算額に比して決算額が1,088百万円多額となっております。
- (注4) 財産処分収入については、当初予算段階で予定していた財産の売却を翌年度以降に実施すること等により、予算額に比して決算額が301百万円少額となっております。
- (注5) 雑収入については、主として施設使用料収入及び特許料収入、受取利息等により、予算額に比して決算額が1,367百万円多額となっております。
- (注6) 引当金取崩については、賞与引当金及び退職給付引当金の取崩を行ったこと等により、予算額に比して209百万円多額となっております。
- (注7) 前中期目標期間繰越積立金取崩については、事業の進捗状況により、予算額に比して決算額が527百万円少額となっております。
- (注8) 出資金については、計画の一部を翌年度以降に実施することとしたため、予算額に比して決算額が2,199百万円少額となっております。
- (注9) 業務費については、(注7)に示した理由等により教育研究経費が減少した一方、附属病院収入の増に伴い診療経費が増加したこと等により、予算額に比して決算額が184百万円多額となっております。
- (注10) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が506百万円多額となっております。
- (注11) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,011百万円多額となっております。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、計画の一部を翌年度以降に実施することとしたため、予算額に比して決算額が5,713百万円少額となっております。
- (注13) 当初予算段階では予定していなかった財産の売却を実施したため、予算額に比して決算額が2百万円多額となっております。
- (注14) (注8)に示した理由等により、予算額に比して決算額が2,199百万円少額となっております。